



平成19年12月期 第1四半期財務・業績の概況(非連結)

平成 19年 5月 8日

上場会社名 株式会社 長府製作所 (コード番号: 5946 東証第一部)
 (URL <http://www.chofu.co.jp/>)
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 川上 康 男 TEL (0832) 48 - 2777
 問合せ先責任者 役職名 取締役総務部長 氏名 日野 正 明

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・法人税等の計上については、法定実行税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
 ・引当金その他影響額が僅少な項目につき、一部簡便的な方法を採用しております。
 ②最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 19年 12月期第1四半期財務・業績の概況 (平成 19年 1月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第1四半期	11,547	3.1	631 △	32.5	977 △	21.0	562 △	23.1
18年12月期第1四半期	11,197	6.0	935 △	10.0	1,237 △	5.5	731 △	9.5
(参考) 18年12月期	46,989		3,587		5,342		3,176	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年12月期第1四半期	15.76		—	
18年12月期第1四半期	20.35		—	
(参考) 18年12月期	88.31		—	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(売上高の内訳)

	当第1四半期			前第1四半期		(参考) 前期	
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	%	百万円	%	百万円	%
給湯関連機器	7,231	62.6	2.6	7,050	63.0	28,807	61.3
空調関連機器	1,891	16.4	30.1	1,453	13.0	6,407	13.6
システム関連機器	1,170	10.2	△ 6.3	1,249	11.2	5,923	12.6
ソーラー関連機器	315	2.7	△ 26.7	430	3.8	1,898	4.1
その他	938	8.1	△ 7.3	1,012	9.0	3,951	8.4
合計	11,547	100.0	3.1	11,197	100.0	46,989	100.0

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、素材価格の上昇や原油価格の動向など、先行き不透明な要因はありましたが、企業収益の改善による設備投資の増加や、雇用情勢にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は引き続き緩やかな回復基調を辿ってまいりました。

このような状況の中、当社におきましては、特約店ルート of 拡充と新規販路の開拓、エコ関連商品を重点商品と位置づけ、市場でのシェアアップを図るなど、積極的な営業活動を行ってまいりました。開発部門では、環境にやさしい商品、お客様に満足していただける商品の開発に努め、生産・購買部門におきましても、昨年に引き続き、外部コンサルタントを活用した原価低減活動を行うなど、コストダウンの徹底を図ってまいりました。

売上高を分類別に見ますと、給湯関連機器は、エコキュートをはじめ、エコウィルやガス給湯器で売上増となりましたが、原油価格の高騰による影響もあり石油給湯器は業界同様の減少となり、給湯関連機器全体では2.6%の増加となりました。空調関連機器はエアコンが国内向け輸出とも大幅に販売台数を伸ばし、全体で30.1%の増加となりました。システム関連機器は浴槽の減少に歯止めがかからず全体では6.3%の減少となりました。ソーラー関連機器におきましても昨年来から順調に販売台数を伸ばしてきた太陽熱温水器がその反動により減少に転じ、全体で26.7%の減少となりました。その他につきましても7.3%の減少となりました。

この結果、当第1四半期の売上高は115億47百万円（前年同期比3.1%増）となりましたが、価格競争は依然として厳しく、また、原材料価格の上昇も一部で続いており、営業利益は6億31百万円（同32.5%減）、経常利益は9億77百万円（同21.0%減）、四半期純利益5億62百万円（同23.1%減）となりました。

なお、2月20日開催の取締役会におきまして、サンポット株式会社に対する公開買付を決議し、3月20日をもってこれを終了いたしました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産 百万円	純資産 百万円	自己資本比率 %	1株当たり純資産 円 銭
19年12月期第1四半期	119,284	104,840	87.9	2,935.86
18年12月期第1四半期	112,183	102,909	91.7	2,860.50
(参考) 18年12月期	113,131	104,102	92.0	2,903.35

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー 百万円	投資活動による キャッシュ・フロー 百万円	財務活動による キャッシュ・フロー 百万円	現金及び現金同等物 期末残高 百万円
19年12月期第1四半期	3	△ 3,318	4,637	2,747
18年12月期第1四半期	1,305	△ 1,225	△ 504	1,774
(参考) 18年12月期	3,792	△ 3,274	△ 1,291	1,424

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローの資金の増加は、3百万円となりました。これは主として税引前四半期純利益8億96百万円、減価償却費3億19百万円の増加要因に対し、棚卸資産の増加3億62百万円、仕入債務の減少4億96百万円、法人税等の支払額11億15百万円等の減少要因によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローの資金の減少は、33億18百万円となりました。これは主として債券の償還による収入10億57百万円等の増加要因に対し、サンポット株式会社の株式取得など、投資有価証券（関係会社株式を含む）の取得による支出42億63百万円等の減少要因によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローの資金の増加は、46億37百万円となりました。これは主として短期借入金の増加額55億円等によるものであります。

以上の結果、当四半期末の現金及び現金同等物の残高は27億47百万円となりました。

3. 19年12月期の業績予想（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

	売上高 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円
中間期	23,800	2,600	1,600
通期	48,500	5,350	3,300

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 92円 41銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期は、概ね計画通りに推移しており、現時点では前回公表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。なお、サンポット株式会社に対する公開買付により、当社の平成19年12月期の業績に与える影響につきましては現在精査中ではありますが、軽微なものを見込んでおります。連結での業績予想につきましては、中間決算発表の中で開示する予定であります。

*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

[添付書類]

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前四半期 (平成18年12月期 第1四半期末)		当四半期 (平成19年12月期 第1四半期末)		増 減 金額	(参 考) 平成18年12月期	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(資産の部)		%		%			%
I 流動資産	23,958	21.4	26,920	22.6	2,962	26,099	23.1
現金及び預金	11,425		10,474		△ 951	9,333	
受取手形及び売掛金	4,833		5,569		736	5,717	
有価証券	2,626		4,793		2,167	5,399	
たな卸資産	4,309		5,499		1,190	5,136	
その他	763		583		△ 180	513	
II 固定資産	88,225	78.6	92,364	77.4	4,139	87,031	76.9
有形固定資産	19,274		19,116		△ 158	19,300	
無形固定資産	80		87		7	70	
投資その他の資産	68,870		73,161		4,291	67,660	
投資有価証券	66,972		65,983		△ 799	64,442	
関係会社株式	190		4,159		3,969	190	
その他	1,708		3,018		1,310	3,028	
資産合計	112,183	100.0	119,284	100.0	7,101	113,131	100.0
(負債の部)							
I 流動負債	6,690	6.0	11,355	9.5	4,665	6,370	5.6
支払手形及び買掛金	2,601		2,368		△ 233	2,865	
短期借入金	—		5,500		5,500	—	
その他	4,089		3,486		△ 603	3,504	
II 固定負債	2,583	2.3	3,089	2.6	506	2,659	2.4
退職給付引当金	700		865		165	659	
繰延税金負債	1,772		2,112		340	1,889	
その他	111		110		△ 1	111	
負債合計	9,274	8.3	14,444	12.1	5,170	9,029	8.0
(資本の部)							
I 資本金	7,000	6.2	—	—	—	—	—
II 資本剰余金	3,568	3.2	—	—	—	—	—
III 利益剰余金	88,895	79.2	—	—	—	—	—
IV その他有価証券評価差額金	3,455	3.1	—	—	—	—	—
V 自己株式	△ 8	△0.0	—	—	—	—	—
資本合計	102,909	91.7	—	—	—	—	—
負債及び資本合計	112,183	100.0	—	—	—	—	—
(純資産の部)							
I 株主資本	—	—	100,811	84.5	—	101,111	89.4
資本金	—	—	7,000	5.9	—	7,000	6.2
資本剰余金	—	—	3,568	3.0	—	3,568	3.2
利益剰余金	—	—	90,896	76.2	—	90,835	80.3
自己株式	—	—	△ 652	△0.6	—	△ 292	△0.3
II 評価・換算差額等	—	—	4,028	3.4	—	2,990	2.6
その他有価証券評価差額金	—	—	4,028	3.4	—	2,990	2.6
純資産合計	—	—	104,840	87.9	—	104,102	92.0
負債及び純資産合計	—	—	119,284	100.0	—	113,131	100.0

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前四半期 (平成18年12月期 第1四半期)		当四半期 (平成19年12月期 第1四半期)		増 減 金額	(参 考) 平成18年12月期	
	金額	百分比	金額	百分比		金額	百分比
I 売 上 高	11,197	100.0	11,547	100.0	350	46,989	100.0
II 売 上 原 価	8,490	75.8	9,142	79.2	652	35,855	76.3
売上総利益	2,706	24.2	2,404	20.8	△ 302	11,133	23.7
III 販売費及び一般管理費	1,770	15.8	1,773	15.3	3	7,546	16.1
営業利益	935	8.4	631	5.5	△ 304	3,587	7.6
IV 営業外収益	459	4.1	539	4.7	80	2,205	4.7
V 営業外費用	157	1.4	193	1.7	36	451	0.9
経常利益	1,237	11.1	977	8.5	△ 260	5,342	11.4
VI 特別利益	0	0.0	2	0.0	2	153	0.3
VII 特別損失	96	0.9	83	0.7	△ 13	347	0.7
税引前四半期(当期)純利益	1,142	10.2	896	7.8	△ 246	5,148	11.0
法人税等	410	3.7	333	2.9	△ 77	1,971	4.2
四半期(当期)純利益	731	6.5	562	4.9	△ 169	3,176	6.8

3. (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当第1四半期(自平成19年1月1日至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年12月31日 残高	7,000	3,568	90,835	△ 292	101,111
第1四半期中の変動額					
剰余金の配当			△ 501		△ 501
第1四半期純利益			562		562
自己株式の取得				△ 360	△ 360
株主資本以外の項目の 第1四半期中の変動額 (純額)					
第1四半期中の変動額合計			60	△ 360	△ 299
平成19年3月31日 残高	7,000	3,568	90,896	△ 652	100,811

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
平成18年12月31日 残高	2,990		2,990	104,102
第1四半期中の変動額				
剰余金の配当				△ 501
第1四半期純利益				562
自己株式の取得				△ 360
株主資本以外の項目の 第1四半期中の変動額 (純額)	1,038		1,038	1,038
第1四半期中の変動額合計	1,038		1,038	738
平成19年3月31日 残高	4,028		4,028	104,840

4. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前四半期 (平成18年12月期 第1四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第1四半期)	(参 考) 平成18年12月期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	1,142	896	5,148
減価償却費	371	319	1,335
退職給付引当金の増減額(減少：△)	220	206	179
その他引当金の減少額	△ 72	—	△ 267
受取利息及び受取配当金	△ 249	△ 295	△ 1,197
為替差益	—	—	△ 25
支払利息	2	4	9
為替差損	7	19	—
投資有価証券売却益	—	△ 1	△ 152
有形固定資産除却損	3	7	27
投資有価証券評価損	—	—	168
売上債権の増減額(増加：△)	354	147	△ 529
棚卸資産の増減額(増加：△)	△ 470	△ 362	△ 1,296
仕入債務の増減額(減少：△)	505	△ 496	770
その他	△ 17	350	△ 119
小 計	1,798	795	4,048
利息及び配当金の受取額	288	328	1,343
利息の支払額	△ 2	△ 4	△ 9
法人税等の支払額	△ 778	△ 1,115	△ 1,590
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,305	3	3,792
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△ 223	△ 38	△ 774
定期預金の払戻による収入	—	200	1,027
投資有価証券の取得による支出	△ 1,872	△ 4,263	△ 10,482
投資有価証券の売却による収入	213	457	2,871
有価証券の取得による支出	△ 0	△ 0	△ 0
有価証券の売却による収入	1,500	600	6,188
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 845	△ 330	△ 2,105
有形・無形固定資産の売却による収入	11	46	10
長期貸付金の貸付による支出	△ 21	△ 4	△ 21
長期貸付金の回収による収入	11	15	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,225	△ 3,318	△ 3,274
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増加額	—	5,500	—
自己株式の取得による支出	△ 1	△ 360	△ 284
配当金の支払額	△ 503	△ 501	△ 1,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 504	4,637	△ 1,291
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0	0
V 現金及び現金同等物の増加額	△ 424	1,322	△ 773
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,198	1,424	2,198
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,774	2,747	1,424